

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	地区公民館管理事業（日生）		コード	担当課	日生地域公民館
			03-02-04-04	担当者	大西 太平
事業実施期間				電話	0869-72-1006
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	生きがいあるまちづくり			
	小項目	公民館			
	施策	施設の整備・充実			

事業について	
目的	住民の良好な生活環境と心豊かな地域建設を図り、住民の文化及び教養の向上発展のための場と機会を提供し、生活文化の振興に資すること。
対象 (誰のために)	市内在住のすべての住民、市内事業所に勤務している人。
内容	貸館業務、各種団体等の集会、住民の集会・その他公共的な催しもの利用や、自主的文化活動。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
年間貸館回数	1,919 回		
貸館利用者数	29,310 人		
地区公民館数	3 館		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	7,672	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	4,570	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債				市債		
合計	12,242	一般財源等	12,242	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.55 人
結果指標名	貸館回数
結果指標量	1,919
単位	回
対前年比	—
事業費	12,242,000 円
単位当たりコスト①	6,379 円

結果指標名	貸館利用者数
結果指標量	29,310
単位	人
対前年比	—
事業費	12,242,000 円
単位当たりコスト②	417 円

事業の成果	17年度		
成果指標名	貸館利用者数	式又は説明	公民館年間貸館利用者数
成果指標量	29,310		
対前年比	—		
到達目標値	30,000	到達目標年度	H19年度

事務事業の評価			
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：社会教育法第20条	地区公民館の管理及び運営の取りまとめ、グループ・団体等の活動の場として利用や、日生地域事業等に利用している。社会教育法に基づく自主的文化活動等に関し、住民の要望を取り入れながら、住民の学習意欲に応えることを目的とした環境を提供している。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	自主的文化活動の他、幼児クラブの活動、住民健診、高齢者の健康運動、地区住民会議等多岐にわたって、休館日以外はほとんど毎日の利用者があり、可能な限り住民からの要望に応えるようにしている。
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
有効性の評価	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	地区住民の自主的な文化活動及び学習の場として、また住民の文化生活の場として利用されている。今後も地域住民の文化生活上の場として有効に活用されるものと思われる。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
市民参画度	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	評価区分 <A~E> C
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	高齡化社会の進展に伴い、今後地域住民の利用が増加すると見込まれるので、老朽化した施設の整備等が必要になると思われる。	評価区分 <A~E> C
------	--	------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	2,000	結果指標量②	30,000
目標値 成果指標量	30,000		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	住民の学習意欲を高めるような情報提供を随時行う。	平成19年度	学習意欲が湧くような情報提供を受けることによって利用の増加が見込める。
効率性	利用者の施設利用終了後ごとに照明等の節電チェック。	平成19年度	電気代等の節約
有効性	若い世代の方に文化活動に参加して戴けるような情報提供の推進。	平成19年度	若い世代の方の文化活動が盛んになるにつれて心豊かな地域発展が見込める。